

# 統合報告書を発行するにあたって

## ART for Human Possibilitiesを旗印に、2030年に向けた変革を進めていきます。

世界では、人々の価値観が多様化し、また地球環境や社会を取り巻く課題は深刻かつ複雑になっていくと想定されます。このような社会の変化に対応するため、パリ協定やSDGs(持続可能な開発目標)の目標達成に向けた取り組みが進められており、企業には長期展望に立った事業変革や、事業を通じて社会課題の解決に貢献することが求められています。

このような中で、ヤマハ発動機では、2030年に向けた長期ビジョン「ART for Human Possibilities」と、その実現に向けた最初の中期経営計画を策定しました。新中期経営計画では、長期ビジョンの注力領域である「Advancing Robotics(ロボティクスの活用による知的技術)」「Rethinking Solution(ヤマハらしいソリューション)」「Transforming Mobility(変革するモビリティ)」をテーマに、既存事業の成長と新規事業の開発に取り組んでいきます。

## 長期ビジョン実現に向けた取り組みをお伝えするためのコミュニケーションツールとして統合報告書を作成しました。

当社はこれまでアニュアルレポートを発行してきましたが、長期視点の取り組みの進捗状況をお伝えする必要性や、中長期視点の情報開示に対するステークホルダーの皆さまからの要請が高まってきたことを受け、今年から統合報告書を発行することにしました。本報告書は、IIRC(国際統合報告評議会)が提唱する「国際統合報告フレームワーク」、および経済産業省が発行した「価値協創ガイダンス」を参考にしながら、皆さまとの対話に役立つコミュニケーションツールとすべく、当社の取り組みをわかりやすく開示することを心がけ、真摯かつ誠実に作成していることを表明いたします。

代表取締役社長  
社長執行役員  
日高 祥博



# CONTENTS

- 統合報告書を発行するにあたって .....2
- ヤマハ発動機の価値創造**
- 価値創造の軌跡 .....4
- ヤマハ発動機の概要 .....6
- 財務・非財務ハイライト .....8
- 重要な社会課題の特定 .....10
- ヤマハ発動機の価値創造プロセス .....12
- ヤマハ発動機の強みとなる重要な資本 .....14
- 事業を通じて創り出される価値 .....16
- 重要な社会課題への取り組み .....18
- 社長メッセージ .....20
- 取締役 企画・財務本部長メッセージ .....31
- 事業戦略**
- ランドモビリティ事業 .....32
- マリン事業 .....34
- ロボティクス事業 .....36
- 価値創造を支える活動**
- グローバル・ブランド戦略 .....38
- デザイン .....40
- 研究開発 .....42
- 知財戦略 .....44
- IT戦略 .....46
- モノづくり .....48
- マーケティング .....50
- 人材育成 .....52
- 成長を支えるガバナンス**
- 取締役会議長メッセージ .....54
- 社外取締役対談 .....56
- コーポレート・ガバナンス .....60
- 取締役・監査役 .....66
- 取締役・監査役構成 .....68
- 執行役員 .....69
- リスクマネジメント .....70
- サステナビリティ**
- 地球環境 .....72
- 地域社会 .....74
- 財務・会社情報**
- 連結財務ハイライト .....76
- 10年間の主要連結財務データ .....78
- 2018年12月期の経営成績の分析 .....80
- 組織図 .....85
- インバスター・インフォメーション .....86

## 情報開示体系

財務情報	非財務情報
<b>統合報告書2018</b>	
当社グループの事業活動全体をご理解いただくために、財務・非財務情報をバランスよく掲載しています。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有価証券報告書</li> <li>・ 投資家情報</li> </ul> <p><a href="https://global.yamaha-motor.com/jp/ir/">https://global.yamaha-motor.com/jp/ir/</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ファクトブック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヤマハ発動機Webサイト</li> </ul> <p><a href="https://global.yamaha-motor.com/jp/">https://global.yamaha-motor.com/jp/</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヤマハ発動機技報</li> </ul> <p><a href="https://global.yamaha-motor.com/jp/profile/technical/">https://global.yamaha-motor.com/jp/profile/technical/</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サステナビリティ関連情報</li> </ul> <p>環境関連情報</p> <p><a href="https://global.yamaha-motor.com/jp/profile/csr/">https://global.yamaha-motor.com/jp/profile/csr/</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガバナンス報告書</li> </ul>

## 編集方針

「統合報告書2018」は、2018年12月に発表した長期ビジョンとそのビジョンを具現化する取り組みとしての新中期経営計画の戦略に加え、環境(E)、社会(S)、ガバナンス(G)への取り組みを通じて今後の成長をより確かなものにするための情報を総合的に盛り込んで掲載しています。本冊子は、株主・投資家をはじめとする幅広いステークホルダーの皆さまに、ヤマハ発動機の持続的な成長を多面的にご理解いただくことを主眼に編集しています。本冊子の編集にあたっては、IIRC(国際統合報告評議会)が2013年12月に公表した「国際統合報告フレームワーク」および経済産業省が発行した「価値協創ガイダンス」を参照しています。また、本冊子に掲載していない財務、サステナビリティ、製品情報などについては、当社のWebサイトをご覧ください。

## 将来の見通しに関する注意事項

当統合報告書の記述について、過去の事実以外は将来の見通しについての記述であり、これは現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありえますことをご承知おきください。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動などが含まれます。